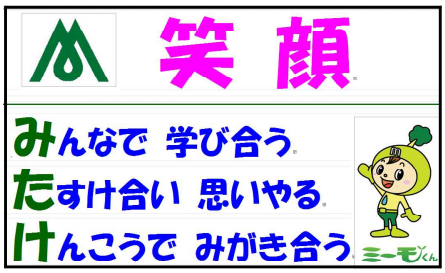
平成２８～３０年度　文部科学省
「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」に取り組んで

御嵩町教育委員会

御嵩町教育委員会は、御嵩町の期待に応える教育の推進を図るため、２１世紀御嵩町教育夢プラン及び小中学校教育指導の方針と重点を作成し、その具現に努めています。
教育で大切にしていることは、「笑顔」です。笑顔いっぱいの子どもたちとなることを願い、「みたけ」の３文字から、「みんなで学び合う姿、たすけ合い思いやる姿、けんこうでみがき合う姿」の３点を目指す姿として取り組んでいます。



◆２１世紀御嵩町教育夢プランの重点「学習や活動を支える教育体制の整備」より

学校教育の更なる活性化を図るため、学習や活動を支える教育体制を整備するため、下記の事業に取り組んでいます。

事　業　等	具　体　的　実　践　事　項
◎学校運営協議会設立の推進	・地域とともにある学校づくりを推進するために、学校運営協議会の設立を推進する。 ・学校運営協議会を設立し、コミュニティ・スクールとして運営している学校の成果を明らかにする。
・小規模特認校の実践の推進	・特色ある教育活動を行う小規模な学校の一層の活性化を図る目的に、小規模特認校の実践を推進する。
・幼保小中高連携の推進	・幼児、児童、生徒の健全な育成を図るため、指導上の諸問題についての情報交流・事例研究などを行う。
◎放課後子どもプランの推進	・放課後児童支援員及び補助員の資質向上研修に努め、小学校等との連携を深め、児童クラブの適切な運営を通して児童の健全育成に努める。 ・地域の教育力を活用した放課後子ども教室の開設を推進する。
・就学支援の充実	・広報などを通じての町民への周知及び民生児童委員との連携を図り制度の適正な運用を行う。

◆上之郷小学校に学校運営協議会の設置と小規模特認校制度の導入

平成２６年１１月教育委員会規則第６号「御嵩町小・中学校における学校運営協議会の設置及び運営に関する規則」を策定し、平成２７年４月１日から、上之郷小学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしてスタートしました。
平成２４・２５年度と上之郷小学校は岐阜県教育委員会から防災教育推進校の指定を受け、岐阜県内でトップレベルの実践を進めてきました。その実践の基盤となっていたのが、家庭・地域連携による上之郷小学校区防災教育推進委員会の設置でした。ＰＴＡ、自治会、自主防災会、公民館、消防団、役場総務課行政係、保育園、小学校、中学校等々の代表により組織され、地震・大雨による土砂災害等の自然災害について知り、自分の命は自分で守れる子を育てる防災教育の推進に努めてきました。現在も継続されています。この組織こそ、学校運営協議会の設置につながる原動力となっていました。
学校運営協議会が取り組んだ課題の一つは、小規模特認校制度の導入の要望です。委員の皆様は学校選択制の中の小規模特認校制度について、先進校の視察等研究を重ね、平成２７年１２月、教育委員会へ要望書を提出されました。教育委員会は、「御嵩町立小学校小規模特認校の就学等に関する要綱」の策定を進め、平成２８年５月に上之郷小学校を小規模特認校として指定し、平成２９年度からスタートして取り組んでいます。
また、学校運営協議会の委員の皆さんのご尽力により、上之郷小学校区に放課後児童クラブや放課後子ども教室の設置をすることができました。

◆文部科学省「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」に公募

上述のように、上之郷小学校の活性化に取り組んできたときに、岐阜県教育委員会可茂教育事務所から文部科学省の「少子化に対応した活力ある学校づくりに活用可能な予算事業について」の連絡をいただきました。これは、平成２７年１月文部科学事務次官より通知された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に関連する取り組みを実施するに当たって活用できる予算を一覧にまとめたものです。その「③教育の質の向上」に「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」があり、事業概要としては、「国の積極的な支援のもと、①統合による魅力ある学校づくりや、②小規模校を存続させたり休校中の学校を再開させたりする場合における小規模校の教育環境の充実についての取組モデルを創出する。」でした。これは、上之郷小学校の取組を更に推進させるためにぴったりの事業だと考えました。

文部科学省「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」の公募に企画提案していくことは、御嵩町教育委員会及び上之郷小学校が、学校の活性化に本気で取り組んでいるという意欲の現れとなります。地域からの支援も必ずあるものと確信しました。

早速、岐阜県教育委員会可茂教育事務所より、平成２８年度文部科学省「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」に係る公募要領を取り寄せていただき、上之郷小学校長と熟読し検討いたしました。事業の趣旨及び調査研究のテーマには次のように記されていました。

１、本事業の趣旨

近年、家庭及び地域社会における子供の社会性育成機能の低下や少子化の進展が中長期的に継続することが見込まれること等を背景として、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されている。このため、各市町村において、それぞれの地域の実情に応じ、教育的な観点から少子化に対応した活力ある学校づくりを積極的に検討する必要があるが、他の模範となる事例は必ずしも多くない状況がある。本事業は、こうした状況を踏まえ、国の積極的な支援・協力の下、①学校統合による魅力ある学校づくりのモデルや、②地理的な要因等により学校統合が困難な地域等において小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化させるための取組に係る優れたモデルを創出する調査研究を行い、その成果を広く普及させることにより、我が国における少子化に対応した小・中学校教育の高度化の取組を加速させることを目的とするものである。

２、委託する調査研究のテーマ

(1)　調査研究Ⅰ　学校統合を行う場合の教育環境充実事例

(2)　調査研究Ⅱ　小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化

①小規模校のメリットを最大化させる方策　②小規模校のデメリットを最小化させる方策

今までの取組を更にグレードアップさせようと、上之郷小学校長自ら先頭に立ち、「調査研究Ⅱ」について企画提案書を作成し、平成２８年３月に文部科学省に提出しました。

平成２８年４月８日、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室より、内定通知が届き、平成２８年５月６日に事業計画書を提出し、履行期間平成２８年６月１５日から平成２９年３月１４日、契約金額１，３６５，７１６円の契約を締結しました。平成２８年度は、下記の研究課題に取り組みました。研究実践は、正に、「小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化」そのものでした。

調査研究Ⅱ　小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化

１　少人数のメリットを最大化させる方策

①学力向上　②体力向上　③歯科保健活動　④防災教育　⑤保・小・中の連携

２　少人数のデメリットを最小化させる方策

①小規模特認校の推進　②放課後子ども教室の設置・運営　③スポーツ少年団の参加率向上

平成２９年３月末に、「実践報告書」を提出し、１年目を終了いたしました。大きな成果を上げることができました。

平成２９年度は、平成２９年５月１６日に事業計画書を提出し、履行期間平成２９年６月６日から平成３０年３月１４日、契約金額７４６，１４２円の契約を締結しました。平成３０年３月末に、「実践報告書」を提出し、２年目を終了いたしました。大きな成果を上げることができました。

平成３０年度は、平成３０年４月２６日に事業計画書を提出し、履行期間平成３０年５月１８日から平成３１年３月１４日、契約金額９０３，７２６円の契約を締結しました。平成３０年度も継続して上記の研究課題に取り組みました。その後の研究実践は、この実践報告書にまとめたように、正に、「小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化」そのものであります。

◆「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」調査研究報告会

下記のように、文部科学省指定「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」調査研究報告会を開催しました。

指導者として、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室義務教育改革係鈴木教郎様、村上学様、岐阜県教育委員会学校支援課総合支援第一係課長補佐富山哲成様、学校安全課学校安全係課長補佐安藤精様、可茂教育事務所教育支援課学校教育係充課長補佐兼係長板津英文様をお招きしました。町内からは、上之郷中学校区の全教職員、向陽中学校区や共和中学校区の校長先生・教頭先生・教務主任の先生方、また、東白川村教育委員会、可児市の校長先生、教育委員、学校運営協議会委員、教育委員会事務局員等々、多くの皆様方にご参加いただきました。

１　日　時　　平成３０年１１月１９日（月）　１３：２０～１６：００（受付１３：００）

２　会　場　　御嵩町立上之郷小学校　可児郡御嵩町宿２００２　　℡　0574-67-1338

３　日　程

１３：００　１３：２０　　１３：５０　１３：５５　　１４：４０　１４：５５　　１６：００

受　付	学校紹介 ランチルーム	移動	第５校時 全学年公開授業	移動 休憩	全体会 ランチルーム

４　学校紹介　　１３：２０～　　**１階　ランチルーム**

司会進行：教　頭

①　あいさつ　　上之郷小学校長
②　学校紹介ＤＶＤ　　教務主任
③　公開授業と全体会の案内　　教　頭

５　公開授業　　１３：５５～

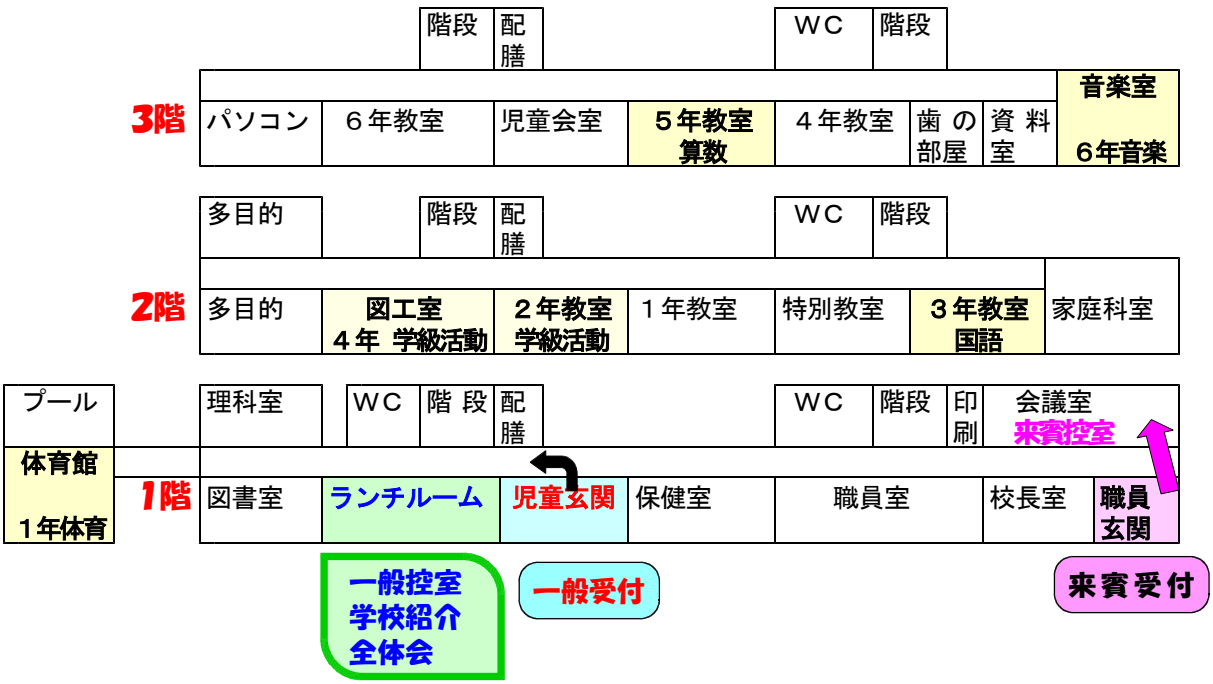
学級	教科等	単 元（題 材）名	調査研究とのかかわり	授 業 者	場　所
１年	体　育	川とびあそび	体力向上	後藤　芳子	体育館
２年	学級活動	よくかんで食べよう	歯科保健活動	布目　義雄	２階　２年教室
３年	国　語	食べ物のひみつを教えます	学力向上	木村　哲也	２階　３年教室
４年	学級活動	地震が起きたらどうするの	防災教育　　防災士参加	小川　恭嗣	２階　図工室
５年	算　数	割　合	学力向上	桑下みちよ	３階　５年教室
６年	音　楽	大切なもの	保小中の連携　兼務参加	加藤　和子	３階　音楽室

６　全体会　　１４：５５～　　**１階　ランチルーム**

司会進行：教　頭

①あいさつ　　御嵩町教育委員会　岐阜県教育委員会
②取組発表　　上之郷小学校
③意見、感想交流
④指導講評　　御嵩町教育委員会
　　文部科学省初等中等教育局 教育制度改革室
⑤お礼の言葉　　上之郷小学校長

◆ 公開授業会場図



調査研究報告会の様子

学校紹介　13:20～

▲校長挨拶　歯科保健活動県１位の紹介

▲学校紹介ＤＶＤ

公開授業　13:55～

▲１年

▲２年

▲３年

▲４年

▲　５年

▲６年

全体会　14:55～

▲岐阜県教育委員会学校支援課総合支援第一係課長補佐富山哲成様挨拶

▲上之郷小学校　取組発表

▲意見・感想交流

▲上之郷小学校

▲指導者

▲御嵩町教育委員会指導

▲文部科学省指導　鈴木教郎様

▲校長　お礼の言葉

◆　文部科学省による御嵩町教育委員会への聞き取り調査

平成３０年１１月１９日（月）の文部科学省指定「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」調査研究報告会の終了後、校長室にて、文部科学省より御嵩町教育委員会への聞き取り調査が行われました。下記の内容について、事前に連絡を受けていましたので、資料を準備してお答えし、ご理解していただくことができました。そして、委託終了後も、上之郷小学校は、御嵩町学力向上推進事業の一環として、「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進」を位置づけ、継続して実践していくことをお伝えいたしました。

文部科学省による御嵩町教育委員会への質問事項

(1)　学校再編計画の策定等、学校再編についての検討状況等　→どのような経緯で存続に至ったか。
(2)　過去の学校再編状況（戦後より）
(3)　今後の町内児童生徒数の見込み、児童生徒数確保のための工夫
(4)　調査研究校に対する町教委としての支援の状況、上之郷小学校の取組概要
(5)　本事業の進捗状況（成果と課題）
(6)　今年度予算の執行状況
(7)　次年度に向けた展望
(8)　町内全体のスクールバスの導入状況
(9)　岐阜県内の人事の状況（特にへき地校や小規模校への教員配置について）
(10)　中学校ブロックによる小中一貫教育の導入の趣旨とその方法
(11)　コミュニティ・スクールの導入状況

◆　３年間の取り組みを終えて

上之郷小学校は、綱木小学校と統合し、昭和５０年にこの校舎を建設しました。当時の児童数は、２１３名でした。現在７２名です。来年度は６２名となります。正に、少子化・人口減少社会です。
上之郷小学校の活性化に取り組んでいたときに、「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」を知り、これは、上之郷小学校の取組を更に推進させるためにぴったりの事業だと考え、棚瀬校長と相談して公募しました。「今は、待っている時代ではなく、自ら進んで切り拓いていく時代である。」という姿勢で取り組んできたものです。平成２８年度から３０年度の取り組みは、他の学校でも大いに参考になる内容ばかりです。

平成２８年度から３０年度にわたる文部科学省指定「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」の推進に関わり、ご指導いただきました文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室義務教育改革係、岐阜県教育委員会、可茂教育事務所の皆様方、上之郷小学校少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進委員会の皆様方、上之郷小学校学校運営協議会の皆様方、みたけスポーツ文化倶楽部・御嵩町文化協会・御嵩町スポーツ推進委員の皆様方、地域の皆様方に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、意欲と熱意を持ち、「ふるさと大好きかみのごう」と言える子どもたちを目指して、チームとなって研究実践に励まれた上之郷小学校の先生方に、心からの敬意を表します。
本当にありがとうございました。今後もどうかよろしくお願い申し上げます。

平成３１年　３月